

オホーツクの風

発行所

北見赤十字病院の
明日を考え支援する会

事務局

北見市緑ヶ丘1-10-16
Tel 0157-61-0684

令和元年12月23日(月) 0025号

ブラック・ジャックセミナー 2019

北見、津別、網走
などから30名の中
学生が集い。

北見赤十字病院・
ジョンソン・エンド
・ジョンソン(株)
・北見赤十字病院の
明日を考え支援する
会の共催で。

令和元年11月2
4日(日)、午後1
時から、同院多目的
ホール「ミント」で
「ブラック・ジャック
クセセミナー201
9」を開催した。
総務課長が総合司
会を担当し、開会を
アナウンスして、開
催挨拶をする病院長
を紹介した。

医師の仕事とは

病院長は開催の挨拶を次のように述べた。「皆さん、こんにちは。当セミナーは外科の医師になる人が少なくなつたので、外科医を目指し



てもらおうと始めました。
日赤を支援する会の人達が危機感を持

って、医学に興味のある生徒に伝え、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)が

セミナーは病院長が「医師の仕事とは」をテーマに参加中学生に話をすることから始まった

体験機材を用意して、副院長、道立病院長、整形外科の先生、循環器の先生、研修医の先生方が指導者となり、共催各社が、準備して出来ることとなりました。本日は楽しんで下さい」と結び、引き続き、「医師の仕事とは」というテーマで話しを進める。病院では医師・看護師・検査技師・薬剤師・栄養士・理学療法士(リハビリ)・メデイカルソーシャルワーカー・事務部門など多くの人が働いています。医師は病院のいろんな部門の人々と協力して、一つのチームを組んで医療の仕事をしています。医師一人では何も出来ません。人と人のコミュニケーション力が必要です。で

すから、例えば「あいさつ」などはとても大事なことです。そして病院の仕組みや医師になるための勉強などについて詳しく解りやすくお話をしてくれました。

さまざまな体験

病院長のお話の後、2組に分かれて、病院の手術室やヘリポートの見学をした生徒たちは手術衣に着替えて体験セミナーに取り組みます。今回の体験セミナーは6人が一組になり、AからEまで6総務課長が総合進行を担当、開会を宣言

のグループになり、6つの色で区分されています。それぞれのグループがブース1からブース5までの各ブースを20分間づつ体験します。また全員がそれぞれの総てのパートを数分間体験できるようにプログラムを工夫しています。

▽ブース1
□鏡視下手術体験
モニターを見ながらゴムや小物の移動操作をする。
□超音波メス体験
鶏肉をモデルに電子メスを使用して切開や切離を体験する。

▽ブース2 糸結
(2面につづく)

ブース	ブース1 鏡視下・超音波メス	ブース2 糸結び・縫合	ブース3 大腸骨髄腫VR	ブース4 整形外科 骨髄固定	ブース5 心臓補助VR
A	A(ライトブルー)	E(黄緑)	D(ピンク)	C(黄色)	B(赤)
B	B(赤)	A(ライトブルー)	E(黄緑)	D(ピンク)	C(黄色)
C	C(黄色)	B(赤)	A(ライトブルー)	E(黄緑)	D(ピンク)
D	D(ピンク)	C(黄色)	B(赤)	A(ライトブルー)	E(黄緑)
E	E(黄緑)	D(ピンク)	C(黄色)	B(赤)	A(ライトブルー)

巡回表に従って体験



(1面からつづく)
び・縫合体験
紐(ひも)を使って糸結びの練習や模型皮膚パットで切開体験、そして縫合を5針ほど体験する。
▽ブース3 大腿骨頸部内側骨折治療体験VR(バーチャル・リアリティ)
その1・最初にVRの使用方法の説明があり、その後ブース1
□鏡視下手術体験



ブース1 □超音波メス体験

グルを装着してVR手術体験する。
その2・ボーンモデルを使用した手術体験する。
生徒の皆さん、体験セミナーで緊張が続き、疲れ気味です。ここで10分ほど休憩です。支援する会の皆さんが茶菓で接待をする。
▽ブース4 整形外科体験(脊椎固定手術)
使用器械や症例の説明の後、ボーンモデルにスクリーンを入れて固定する手術を体験する。
▽ブース5 心房



ブース2 糸結び・縫合体験

細動治療体験VR
カテーテルのサン

プルを触ってもらいながら、アブレーション



ブース3 大股骨頸部内側骨折治療体験 その2 ボーンモデルを使用した手術体験(下)

ョン治療の説明の後、ゴーグルを装着してVR体験する。
会場にNHKのテレビカメラが入り、セミナーのさまざまな体験を番組で放映する。
総での体験が修了し、閉会に先立ち、副院長が参加の中学生の一人ひとりに「未来の医師の認定証」を授与する。
中学校へ応募のお願い
セミナー参加中学生への募集活動が支援する会で始まる。
令和元年7月5日(金)、午前9時3

0から、北見市教育委員会で北見市立小中学校長会が開催され、会の代表と事務局長が参加し、その冒頭数分間をいただき、ブラック・ジャックセミナー2019の企画を説明し、中学校の校長先生に募集をお願いする。
その後、9月中旬から会員が2班に分かれ市内の14の中学校を訪問する。ポスターやチラシを持ち、定員25名の募集をお願いする。
それぞれの校長先生はセミナーの意義を理解して、その募



ブース1 VR(上)



休憩 支援する会んの皆さんが茶菓で接待

集を校内で積極的に行うと応えてくれた。
令和元年10月28日(月)、募集を締め切った。市内の5つの中学校から定員を上回る29名の応募があった。
開催直前になり、2名の欠席があり、また津別中と網走二中から応募の問い合わせがあった。
直前の受け入れは(3面につづく)

(2面からつづく)
事務が繁雑になるが、一人でも多くの中学生に参加して欲しく、2校の3生徒に応募承諾の連絡をした。

開催への思い

平成23年に「キッズ医療ワークショップ」が横浜で開催したという情報を得て、私達の街の子供達がこのような体験が出来れば、どんなにか素晴らしいことかと私のHPに記し

たのが平成24年5月のことであった。

その思いが実現、平成28年11月6日(日)、北見赤十字病院で「外科手術体験 ブラック・ジャックセミナー」を初めて開催した。

その時の参加中学生は『この体験で、私の夢は外科医になることに決まりました。私が将来外科医になつたら、患者さんの命を何より大切にしたいです。そして手術の腕も一流で、全身を診ることの出来る医師になり、い

ずれば、何事も患者さん優先の病院を作りたいです』とブラック・ジャックセミナー体験記に綴っている。

大都市や医科大学の有る地域では医師数は充たされているがオホーツク医療圏では医師不足が続いている。また中核病院では医師の残業の長時間化が課題で、ここにも医師不足が存在する。

市内の中学生に最新の医療にふれる機会を提供し、何よりも尊い「人の命」を救う医師の仕事を経験し、一人でも多く



ブース4 整形外科体験(脊椎固定手術)

NHKのテレビのインタビューに答える



ブース5

心房細動治療体験 その説明(上) ゴーグルを装着してVR体験(下)



の中学生が、将来のオホーツクの医療を支える医師を志すきっかけになることを願っている。

今年6月、平成28年に実施したときと同じように北見赤十字病院・ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)そして北見赤十字病院の明日を考へ支援する会は2回目のブラック・ジャックセミナーを開催することで合意した。

共催各社に謝意

本セミナーに参画した共催各社のスタ



副院長から「未来の医師認定証」を参加生徒に授与

ツフは
▽北見赤十字病院 病院長・副院長(心臓血管外科)・副院長(整形外科)・第二循環器内科部長・第二

整形外科部長・第三整形外科部長・産婦人科副部長・外科医師・整形外科医師・臨床研修医(2年)・臨床研修医(2年)・手

術室看護師長・総務課長・総務係長・以上15名。

▽ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)

札幌・仙台営業所長・ストラテジックパートナーシップグループマネージャー・エチコン事業部からデイストリクトセールスマネージャー外3名・DPSトラ

ウマ事業部からデイストリクトセールスマネージャー外3名・バイオセンスウェ

ブスター事業部から2名、以上12名。

▽北見赤十字病院の明日を考へ支援する会

代表・副代表・副代表・会計監査・事務局

長・事務局次長・理事が5名、以上11名。

総勢、38名になりました。

休日を返上して、ボランティアで参画

戴き、その働きに感謝し、厚くお礼を申し上げます。有り難

うございます。

ナース・コール

副代表 谷川 勝男

令和元年九月二十四日、心臓の手術をしていた。そして十月三十一日に退院。

道立北見病院三階、心臓外科病棟での三十七日間、人工弁に換えていただいた手術後の身をベッドにあずけて、なんとなく過ごした。

三十七日間、本を一行も読むこともなく、「ただ、なんとなく」であったというのは初めてのことで、しかし、退屈だったわけでもない。

朝、看護師さんが「今日、担当させていただきます」

と自己紹介して下さる。夕方、「これからあと、夜の担当の〇〇です」との引き継ぎが、直接、患者に知らされる。そして、プリントアウトされた患者個人宛の「看護目標」には、二十項目ほどの看護師としての為すべきことが記されている。

さらにナース・コール。患者のどんな求めにも対応して下さる。

看護師さんたちだけでない。薬剤師、栄養士、検査技師やリハビリ担当の皆さんが必要に応じて動いて下さる。

そして院長先生や担当の先生もこまめに病室を回って声をかけて下さる。そんな三階の心臓外科病棟は、しかし、とても静かだ。とくに看護師さんたち。

スタッフステーションで輪になっていたり、三、四人が向き合って打ち合わせ、引き継ぎらしき

ことをされている様子を目にすることはある。が、やはり、何も聞こえてこない。

男性看護師がひとりおられるが、どんな異和感もなく看護師としての仕事をされている。

年令、経験、人柄などそれぞれであるはずの看護師さんたちが、低きに流れる水のような自然さで、一体となって、仕事をされている。

ベテランのおひとりが、美和さんだっただけで、美和さんだけが中学生になったとき、一年間だけ担任だった。二年になるときの学級編成で別になった。

そして今、高齢者として「高齢化」していくときの病床でお世話になることができた。うれしかった。

ナース・コール。ベッドに引かれたコードのボタンを押すだけ、何秒、くらの速さで看護師さんが、静かに、登場して下さる。

その速さ、一体感、患者に向き合っては「病棟」が大きなひとつの「神の手」のようにして動かされて、どんな齟齬も来さない。看護師さんたちの心と意志がこまやかにかみあっているのだろうと思われた。

東日本大震災は二〇一一年三月一日のことだった。その震災・津波で石巻市立大川小学校の児童七十四人と教職員十人が亡くなられた。

教職員の「故意」による「殺人」といいたいくらいの悲劇であった、というのがぼくの受け止め方

だが(『谷川流 教師の本懐』の「千年後にも伝えたい過ち」)

大川小学校の消された五十一分)今も納得がいかない。ところが、やっと、この十月十日、最高裁が石巻市と宮城県の上告を退けて、市と県とに十四億三千万円の賠償を命じた。

それでもしかし、そのとき現場にいて、一人生存している教師には「証言」させないままなのである。

十一人の教師たちが「現場」でどんな判断・やりとりで七十四人を死なせてしまったのか「分かる」唯一の「証言」をさせないままでの「十月十日」の決定なのであった。

奇奇怪怪というしかないが、そんなにも行政や教育界の「人間の劣化」がひどくて凄惨というところなのであろう。人間の劣化——と

はいやな言葉だ。しかし、そんなことが増える一方だ。

比べることで「事の本当」がより鮮明になることは少くない。

大川小、石巻市教委の「無能」振りは「殺人罪」に匹敵するほどのものと思うが、比べて、道立北見病院の看護師さんたちが患者に向き合

うときの誠実さ、真剣さは「劣化」とは「真逆」のもの、そのことに尽きる。

十一月二十八日に上京して、三十日、北鎌倉駅で末娘楓子夫妻、次男玄二兄と待ち合わせて鎌倉の紅葉、お汁粉に舌つづみを打った。

夜は浜松町に戻っての「宴」、十時間、歩いて、食べて、飲んでのおしゃべりに耐えられるまでに、わが「肉体」は復調、前途洋々の「老春」を目指したい。



ブラック・ジャックセミナー2019

は事故もなく無事に終了し、その記念写真に参加中学生や共催各社の皆さんへ配布後、12月初旬から本号の編集に取りかかり、漸く脱稿することが出来てほっ

として居る処です。参加した生徒にお願いした作文の締め切り日が過ぎ、会の事務局長の基にその作品が届き続いています。作文の到着順にその編集が進んでいます。

令和元年もあと少しの日々で暮れようとしています。会も令和の時代にふさわしい新たな戦略を構想しなければと思案中です。

何かと気ぜわしい師走です。読者の皆さん、お身体をご自愛戴き、新しい良い歳をお迎え下さい。

(逢坂)